

## 法語2 三福

世福……父母に孝行し十善を行する。

戒福……仏法僧に順い諸の戒を守り、起居を乱さない。

行福……因果を深く信じ人々を仏の道に入らしめること。

## 4. 身口意の三業(十善、十惡)

### ■身による惡

殺生 生きものの生命を奪う。

偷盜 他人の財物を取る=盗み。

邪姪 よこしまな男女の交わり。

### ■口による惡

妄語 嘘をつく。でたらめを言う。

綺語 無意味、無益なことを言う。

悪口 他人を傷つける言葉。陰口、中傷。

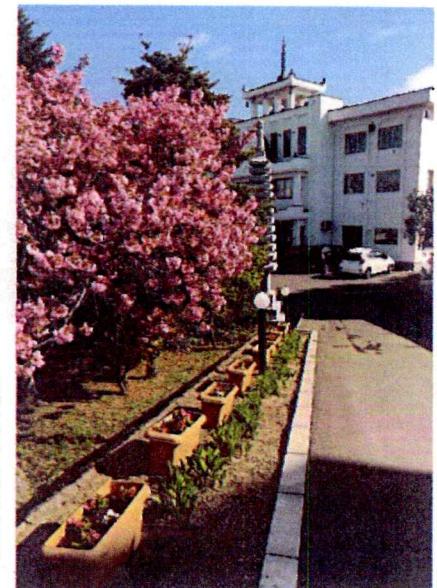
両舌 他人の仲を裂く言葉。

### ■意(心)による惡

貪欲 財物などをむさぼり求める。

瞋恚 いかり、憎しみ。

邪見(愚痴) 誤った見解。



## 法語3 惡性さらにやめがたし こころは蛇蝎のごとくなり

修善も雑毒なるゆえに 虚偽の行とぞなづけたる

## 5. 現代語訳と趣意

悪い本性はなかなか変わらないのであり、それはあたかも蛇やさそりのようである。だからたとえどんなよい行いをしても、煩惱の毒がまじっているので、いつわりの行というものである。

私たちは平生、外見では当たり障りのない振る舞いをしていますが、心のなかでは良い人、嫌な人、…と周りの人を当てはめて生活しています。自分勝手な物差しで人をはかり、枠にはめています。良い人と思っている人に少し気にくわいことをされると、「良い人と思っていたけれど…」と思い、枠を微調整していきます。それでもニコニコと接していきます。他人(ひと)を枠にはめていくのは、自分の身を守るためです。そして、ひとたびその枠から大きくはみ出て、自分の心が傷つけば、どんな思いを心に抱き、時にはその思いを口から発し、人を傷つけるようなことをしてしまうのが、私の本当の姿であると、親鸞さまはご自身の心を徹底的に見つめ述べておられます。